

事業者のBCP策定推進に向けた取組方針等

資料2

R7.9末時点

| No | 所属      | 業種     | 第5期行動計画までの実績  | 第6期行動計画スケジュール                     |                                   |   |   | 現 状   |  |  | 今後の取組<br>(現状の課題を踏まえた取組内容)  |  |
|----|---------|--------|---|-----------------------------------|-----------------------------------|---|---|---|--|--|--|--|
|    |         |        |   | R7                                | R8                                | R9  | R10以降   | BCP策定率 (R7.4末時点)  | BCP策定率 (R7.9末時点)   | 課 題  | 取組方針<br>(☆新規 ○継続)  | 具体的な取組内容<br>(☆新規 ○継続)  |
| 1  | 交通運輸政策課 | トラック   | 【従業員50人以上】<br>R3末 100% (22/22) 100%   | 策定済事業者のBCP検証を目的とした研修会の開催          | 策定済事業者のBCP検証を目的とした研修会の開催          | 策定済事業者のBCP検証を目的とした研修会の開催  | 策定済事業者のBCP検証を目的とした研修会の開催  | 100%  | 100%   | -  | -  | -  |
|    |         |        | 【従業員20~49人】<br>R6末 100%(70/70)  | 策定済事業者のBCP検証を目的とした研修会の開催          | 策定済事業者のBCP検証を目的とした研修会の開催          | 策定済事業者のBCP検証を目的とした研修会の開催  | 策定済事業者のBCP検証を目的とした研修会の開催  | 100%  | 100%   | -  | -  | -  |
|    |         |        | R6末 100%<br>(県バス協会会員のバス事業者のうち、乗合バス運行事業者10/10)                                       | BCP策定済みの乗合バス事業者に対して、BCP検証を喚起(年1回) | BCP策定済みの乗合バス事業者に対して、BCP検証を喚起(年1回) | BCP策定済みの乗合バス事業者に対して、BCP検証を喚起(年1回)   | BCP策定済みの乗合バス事業者に対して、BCP検証を喚起(年1回)   | 100%  | 100%   | -  | -  | -  |
| 2  | 保健政策課   | 病院     | 策定率87% (103/118)  | 救護病院<br>2病院策定                     | 一般病院<br>4病院策定                     | 一般病院<br>5病院策定   | 簡易版BCP策定の医療機関に対し、通常版BCPへの策定支援   | 策定率87% (103/118)  | 策定率88% (104/118)   | ①施設ごとの被害想定や病床規模に応じてBCPを策定する必要があることから、ひな形を埋めて完成させることができない。個別の事情に応じて病院単位で支援を行う必要がある。<br>②院内の分野が多岐にわたるため、何から着手すればよいか手順が分からない。<br>③医療機関内の一つの部署だけでは策定できないが、部署間の話し合いの場をもつことが難しい。 | ○第6期では、全病院のBCP策定完了を目指す。<br>○策定済の病院についても、実効性のあるBCPへの改定<br>○BCPを未策定の残り2つの救護病院への個別訪問による策定の働きかけ及びその後の機会をとらえた進捗等の確認 | ○医療機関向けBCP啓発セミナーの実施(1回、令和7年10月)<br>○あらゆる機会を捉えたBCP策定の促進及び啓発<br>○BCP策定にかかる経費の補助                                |
|    |         |        | 【災害拠点病院】<br>策定率100% (12/12)<br>【救護病院】<br>策定率96% (55/57)<br>【一般病院】<br>策定率73% (36/49) | 一般病院<br>4病院策定                     |                                   | 【災害拠点病院】<br>策定率100% (12/12)<br>【救護病院】<br>策定率96% (55/57)<br>【一般病院】<br>策定率73% (36/49) | 策定率88% (104/118)<br>【災害拠点病院】<br>策定率100% (12/12)<br>【救護病院】<br>策定率96% (55/57)<br>【一般病院】<br>策定率76% (37/49) |   |  |  |  |  |
| 3  | 健康対策課   | 透析医療機関 | R6末 51.5% (17/33)   | 5施設増<br>66.7%<br>(22/33)          | 5施設増<br>81.8%<br>(27/33)          | 6施設増<br>100%<br>(33/33)   | BCP策定率<br>100%<br>(33/33)   | 51.5% (17/33)<br>【災害拠点病院】<br>策定率50% (5/10)<br>【救護病院】<br>策定率63% (10/15)<br>【一般病院、診療所】<br>策定率25% (2/8)                | 51.5% (17/33)<br>【災害拠点病院】<br>策定率50% (5/10)<br>【救護病院】<br>策定率63% (10/15)<br>【一般病院、診療所】<br>策定率25% (2/8)   | ○病院全体のBCPは策定しているが、透析室に特化した事項に手を付けられていない。   | ○患者状況調査時に策定状況把握<br>○福祉保健所を通じた透析医療機関への働きかけ<br>☆透析室BCP未策定の16医療機関へのBCPのひな形の提示(文書による策定依頼)と併せ、個別訪問による策定の働きかけを行う。    | ☆簡易版BCPのひな形を提示し、医療機関への働きかけを行う。<br>○透析医療の継続が見込める医療機関から優先順位を付けて進めていく。<br>○ブロックごとの検討会や透析医療コーディネーター連絡会でのBCP策定を周知 |
| 4  | 地域福祉政策課 | 社会福祉施設 | 【従業員50人以上(入所型)】<br>R6末 100% (54/54)<br>高齢者施設 39/39<br>障害者施設 14/14<br>児童施設 1/1       | 入所型施設におけるBCPに基づく訓練の実施率100%        | 入所型施設におけるBCPに基づく訓練の実施率100%        | 入所型施設におけるBCPに基づく訓練の実施率100%  | 取組の継続   | ○入所型施設におけるBCP策定率<br>R6末 100% (144施設/144施設)<br>・高齢者施設: 101施設<br>・障害者施設: 31施設<br>・児童施設: 12施設<br>訓練の実施率(R6末)については現在調査中 | ○入所型施設におけるBCP策定率<br>100% (144施設/144施設)<br>・高齢者施設: 101施設<br>・障害者施設: 31施設<br>・児童施設: 12施設<br><br>○入所型施設におけるBCP訓練実施率<br>R7.9時点96.5% (施設139/144施設)<br>・高齢者施設: 98施設<br>・障害者施設: 29施設<br>・児童施設: 12施設 | BCP策定済みの施設における、訓練の実施による実効性の向上や、計画の見直し  | ○BCPの策定は、令和3年及び6年の報酬改定により、高齢者施設、障害者施設は義務、児童施設は努力義務となっており完了しているため、今後は訓練における実効性の向上を図る。                           | ○実地指導等の際にBCPの確認、訓練実施の働きかけ  |

| No | 所属                    | 業種                         | 第5期行動計画までの実績  | 第6期行動計画スケジュール                                    |  |  |                            | 現 状  |  |   | 今後の取組<br>(現状の課題を踏まえた取組内容)  |  |
|----|-----------------------|----------------------------|---|--|--|--|----------------------------|--|--|---|--|--|
|    |                       |                            |   | R7   | R8   | R9   | R10以降                      | BCP策定率 (R7.4末時点)   | BCP策定率 (R7.9末時点)   | 課 題   | 取組方針<br>(☆新規 ○継続)  | 具体的な取組内容<br>(☆新規 ○継続)  |
| 5  | 商<br>政<br>策<br>課      | 商<br>工<br>業<br>者           | 【従業員50人以上】<br>BCPまたはジギョケイの策定率<br>R6末 81.8%(193/236)   | 85%<br>(189/222事業<br>者)                          | 90%<br>(200/222事業<br>者)                          | 95%<br>(211/222事業<br>者)                          | 取組の継続                      | 83.8%(186/222事業所)<br><br>※第6期計画から母数を見直し  | 84.2%(187/222事業所)  | ○特に、小規模な事業者（従業員20～49人）の策定率が低い。<br><br>○策定に至らない理由としては、人材不足や策定にかける時間的な余裕がないこと等<br><br>○簡易版BCPであるジギョケイについて、R2から国による認定が開始。県でもR4からジギョケイの策定支援事業を開始したが、事業者に対する一層の周知が必要 | ☆商工会・商工会議所をはじめとする支援機関との連携を強化し、特に小規模な事業者のジギョケイ策定を後押しする。<br><br>○従業員50人以上の事業者についても、未策定事業者に対しては、まずはジギョケイの策定を促し、次にBCP策定にステップアップしていく。<br><br>○ジギョケイの策定も難しい事業者や、従業員19人以下のごく小規模な事業者に対しては、「超」簡易版BCPの策定を促していく。<br>※「超」簡易版BCPの策定は、策定率としてカウントしない。 | ○高知商工会議所への委託によるジギョケイ策定促進<br>(委託内容)<br>・ジギョケイ策定講座の開催（3回以上）<br>・個別策定支援（商工業者のみ）<br><br>○東京海上ディーアールへの委託によるBCP策定促進<br>(委託内容)<br>・BCP策定講座（2回）、BCP訓練講座（2回）の開催<br><br>☆策定マニュアルの見直し（新被害想定の反映など）（R8新規） |
|    |                       |                            | 【従業員20～49人】<br>BCPまたはジギョケイの策定率<br>R6末 31.2%(88/282)   | 34%<br>(124/360事業<br>者)                          | 42%<br>(152/360事業<br>者)                          | 50%<br>(180/360事業<br>者)                          | 取組の継続                      | 27.8%(100/360事業所)<br><br>※第6期計画から母数を見直し  | 30.0%(108/360事業所)  |   |  |  |
| 6  | 観<br>光<br>政<br>策<br>課 | 旅<br>館<br>・<br>ホ<br>テ<br>ル | 【従業員50人以上】<br>R6末 78.6% (11/14)<br>※未策定2施設については、策定済みであった施設において、事業者が変更し、リニューアルオープンしたことに伴うもの                                    | 10事業所策定  | 10事業所策定  | 10事業所策定  | 取組の継続                      | 78.6% (11/14)  | 78.6% (11/14)  | 策定にかける時間的・人的な余裕がない。   | ○従業員50人以上の事業所では概ね策定が完了しているが、引き続き、策定のための支援相談窓口による簡易的なBCP策定について取り組む。   | ○支援相談窓口による簡易的なBCP策定について取り組む。   |
|    |                       |                            | 【従業員10～49人】<br>R6末 89.6% (43/48)<br>※津波浸水区域内  |  |  |  |                            | 60.4% (55/91)  | 60.4% (55/91)  |   |  |  |
|    |                       |                            | 【従業員10人未満】<br>R6末 12.1% (58/479)  |  |  |  |                            | うち、津波浸水区域内<br>89.6% (43/48)  | うち、津波浸水区域内<br>89.6% (43/48)  |   |  |  |
| 7  | 土<br>木<br>政<br>策<br>課 | 建<br>設<br>事<br>業<br>者      | R6末 65%<br>(道路啓開計画により、啓開作業を行うこととされている建設事業者)<br>BCP策定率：65% (201/311)<br>A等級:100% (22/22)<br>B等級:77% (173/217)<br>C等級:8% (6/72) | 道路啓開計画より、啓開作業を行うこととされている建設事業者のBCP策定支援(超簡易版BCP含む) | 道路啓開計画より、啓開作業を行うこととされている建設事業者のBCP策定支援(超簡易版BCP含む) | 道路啓開計画より、啓開作業を行うこととされている建設事業者のBCP策定支援(超簡易版BCP含む) | 引き続き、事業者のBCP策定率向上に向けた取組を実施 | 道路啓開計画より、啓開作業を行うこととされている建設事業者のBCP策定支援(超簡易版BCP含む)<br>BCP策定率：82% (261/315)<br>A等級:100% (22/22)<br>B等級: 91% (197/217)<br>C等級: 54% (39/72)<br>D等級: 75% (3/4) | 道路啓開計画より、啓開作業を行うこととされている建設事業者のBCP策定支援(超簡易版BCP含む)<br>BCP策定率：93% (293/314)<br>A等級:100% (22/22)<br>B等級: 96% (210/217)<br>C等級: 80% (57/71)<br>D等級:100% (4/4) | B等級においても、策定は一定進んでいるが、C、D等級については、その多くが家族経営など10人未満の事業者であり、BCP策定の意識付けが必要   | ○超簡易版BCP策定を継続依頼<br>☆第6期行動計画見直し時に道路啓開計画より、啓開作業を行うこととされている建設事業者のBCP策定目標率を100%とする。  | ○これまでの建設業BCP策定を引き続き促すとともに、余力のない未策定の事業者に対し、超簡易版BCP策定を継続依頼し、令和9年度にはBCP策定率を100%とする。<br>高知県建設業協会などの関係機関と連携し、R7上半期時点で策定率93.3%であり、令和7年度目標の90%を達成。  |

| No | 所属  | 業種    | 第5期行動計画までの実績   | 第6期行動計画スケジュール |             |             |              | 現 状  |  |  | 今後の取組<br>(現状の課題を踏まえた取組内容)  |   |
|----|-----|-------|--|---------------|-------------|-------------|--------------|--|--|--|--|---|
|    |     |       |  | R7            | R8          | R9          | R10以降        | BCP策定率 (R7.4末時点)   | BCP策定率 (R7.9末時点)   | 課 題  | 取組方針<br>(☆新規 ○継続)  | 具体的な取組内容<br>(☆新規 ○継続)   |
| 8  | 建築課 | 建築事業者 | 27社<br>27/60社(45%)<br>5期における策定数/5期における目標<br><累計><br>137社<br>137/300社(45.6%)<br>(参考)<br>○R3末まで累計(第4期)<br>110社<br>○年度ごと実績(第5期)<br>R4年度:8社(累計118社)<br>R5年度:15社(累計133社)<br>R6年度:4社(累計137社)<br>○R6末までの累計目標<br>R4~6目標 170社<br>(110社(R3末までの実績)+60社(R4~R6目標))<br>R6末 137社<br>(137/170=80.5%) | BCP策定事業者20社   | BCP策定事業者20社 | BCP策定事業者20社 | BCP策定事業者103社 | 137社<br>137/300社(45.6%)<br><br>○入札参加資格者等の状況<br>A等級 60/255社(23.5%)<br>B等級 45/336社(13.4%)<br>C等級 16/83社(19.3%)<br>D等級 1/44社(2.3%)<br>その他 15/16社<br>(その他:設計事務所等策定/依頼)<br>合計 137/734(18.7%)<br>※1 建築・電気・管工事のA~D等級で、等級別の事業者数は、工種が重複している社は1社と数えているため分母の総数は734社となっている。<br>※2 第5期南トラ行動計画にあわせ、目標の指標を策定事業者数とした。<br>※3 母数は県の指名競争入札参加資格者とし、設備工事事業者を含む。 | 137社<br>137/300社(45.6%)<br><br>○入札参加資格者等の状況<br>A等級 60/255社(23.5%)<br>B等級 45/336社(13.4%)<br>C等級 16/83社(19.3%)<br>D等級 1/44社(2.3%)<br>その他 15/16社<br>(その他:設計事務所等策定/依頼)<br>合計 137/734(18.7%)<br>※1 建築・電気・管工事のA~D等級で、等級別の事業者数は、工種が重複している社は1社と数えているため分母の総数は734社となっている。<br>※2 第5期南トラ行動計画にあわせ、目標の指標を策定事業者数とした。<br>※3 母数は県の指名競争入札参加資格者とし、設備工事事業者を含む。 | ・目標に対し進捗しているが、最終目標には達していないため、BCP策定の必要性を今後も啓発していくことが必要<br>・復興の担い手となる中大規模の事業者の意識の向上が必要<br>・復旧・応急期には応急仮設や応急修理の担い手となる小規模事業者(一人親方や家族経営を含む)はBCP策定の意識と策定の余力がない。 | ○BCP策定の意識の向上を図るため、引き続き講習会を開催<br>☆現状の把握、普及啓発につなげるため業界団体との意見交換会を行う。<br>○策定の余力がない事業者には、まずはジギョケイまたは超簡易版BCPの策定を促す。<br>☆建築課担当者から直接、普及啓発、超簡易版BCP策定の促進を行う。 | ○<講習会開催>学識者によるBCP策定のポイント解説や事業者から策定事例の発表を予定している。<br>☆<業界団体との意見交換>建設業協会建築部会等との意見交換会を行う。<br>○<小規模事業者への対応>ジギョケイまたは超簡易版BCPの策定を促す。<br>☆R7年度建築工事等受注者に対し、建築課担当者から直接、普及啓発、超簡易版BCP策定の促進を行う。 |